

解説

Rooster AX220S 用ファームウェアです。

変更履歴

2022/12/15 v2.3.0

- SunDMS WAN ハートビート 対応
- 既存 AT コマンド互換モードに AT コマンド追加
- NAT 変換した IP パケットの Don't Fragment ビットを本装置がクリアする/しないを変更する設定「NAT を経由する IP パケットの DF ビットをクリアする」を追加
- OS アップデート
- NAT/IP マスカレード機能の ICMP 宛先到達不能メッセージの NAT 変換に誤りがある問題を修正
- AT コマンド互換モード（モデム接続）でダイヤルアップ時に通信モジュール再起動が発生するときがある問題を修正
- AT コマンド互換モードで AT&S=1 を実行した際に、DR 信号が OFF にならないことがある問題を修正
- AT コマンド互換モードで AT S のリザルトコードに誤りがある問題を修正

2021/12/1 v2.2.0

- SunDMS 後位端末死活監視機能に対応
- SunDMS 機器アクセス機能に対応
- SunDMS 使用している LTE 周波数表示に対応
- DHCP 静的リース機能に対応
- OS アップデート
- DHCP クライアントから Option Length が 0 の Option を含む DHCP Discover/Request パケットを受信した際に、応答パケットを返さない場合がある問題を修正
- AT コマンド互換通信モード・モデム接続で+++AT コマンド後のコマンド文字を破棄する場合がある問題を修正
- RS232C 通信モードで起動から 1 年以上経過すると回線切断が失敗する場合がある問題を修正

2021/3/23 v2.1.0

- ・通信モジュールファームウェア更新機能の追加
- ・プロコンモード・常時接続で動作中に、TCP 接続は成功しているが、データが RS232C 上に出力されないことがある問題を修正
- ・ネットワークに接続したことがない通信モジュールからの時刻取得に失敗することがある問題を修正
- ・ポーリングモードがロングポーリングの場合に、SunDMS サーバーメンテナンス中の SunDMS 通信の頻度を抑えるよう修正

2020/8/11 v2.0.0

- ・パフォーマンス改善
- ・Telnet パスワード制限 (8 桁以上)を追加
- ・AT コマンド互換通信モード動作時に対応していない AT コマンドに OK リザルトコードを返すことがある問題を修正
- ・AT コマンド互換通信モード、互換モード:UM02F または UM02KO(FOMA)動作時にオンラインコマンドモード中に AT & F コマンドを実行した際に、回線切断が行われない問題を修正
- ・AT コマンド互換通信モード動作時に AT*STELNUM コマンドのパラメータ指定が不正な場合でも APN が登録されることがある問題を修正
- ・AT コマンド互換通信モード動作時に AT+CEER コマンドで切断理由が出力されないがある問題を修正
- ・プロコン通信モード、常時接続(TCP のみ)、ソフトウェアによる自動再起動 動作条件：回線接続中は再起動しない設定で動作中に、サーバー側から AX220 に対して通信を開始に対して通信を開始した際に、回線接続中であっても再起動が発生することがある問題を修正
- ・SunDMS の電波受信強度、品質の表示に誤りがあった問題を修正

2020/5/22 v1.9.0

- ・ソフトウェアによる再起動時に機器ごとに再起動時間を分散させる機能を追加
- ・初回の SunDMS 接続に失敗した際に 24 時間後に再接続をしていたものを約 3 時間毎に再接続するように変更
- ・SunDMS 使用時に SunDMS サーバーへの DNS クエリ回数を削減
- ・SunDMS のポーリング間隔毎に電波強度、品質を更新するように変更
- ・圏外状態が継続した場合、通信モジュールを再起動するように変更